あなたと町政をむすぶ議会情報誌

たが

こんにちは議会です!!

ジャンボかるた大会で元気に「はいっ!!」

- 12月定例議会 …… 2
- 各常任委員会審議報告 …… 4
- 請願審議 …… 6
- 一般質問　9議員が問う …… 7
- がんばってます……12

第124号

平成22年2月1日発行
発行　多賀町議会
編集　広報発行対策特別委員会

滋賀県犬上郡多賀町大字多賀324
〒522-0341 ☎0749（48）8126
FAX 0749（48）0157
有線　2－2011

ホームページ http://www.tagatown.jp
E-mail　gikai@town.taga.lg.jp

21年度一般会計補 正予算可決

借入金繰上げ返済２億８７万円など ３億６９４万円追加

12月 定例議会 9日～22日

予算総額 41億８１４２万円

12月定例議会は、12月9日から22日までの日程で開催し、同意1件、条例改正4件、平成21年度補正予算4件、その他5件の14件を原案のとおり同意、可決した。
請願2件は、1件を採択、1件を不採択とした。

21年度補正

◎一般会計
３億６９４万円追加
（内容は次頁に記載）

◎国民健康保険特別会計
１億２１５万円追加
医療機関にかかった人が当初見積りより増加したため。

◎介護保険事業特別会計
５３４万円追加
介護サービス等が当初より増加と人件費の調整のため。

◎水道事業会計
収益的収入
３１万円減額
資本的支出
１０６５万円追加
仏ケ後浄水場用地３２３７㎡購入代金追加。
（いづれも全員賛成）

同意

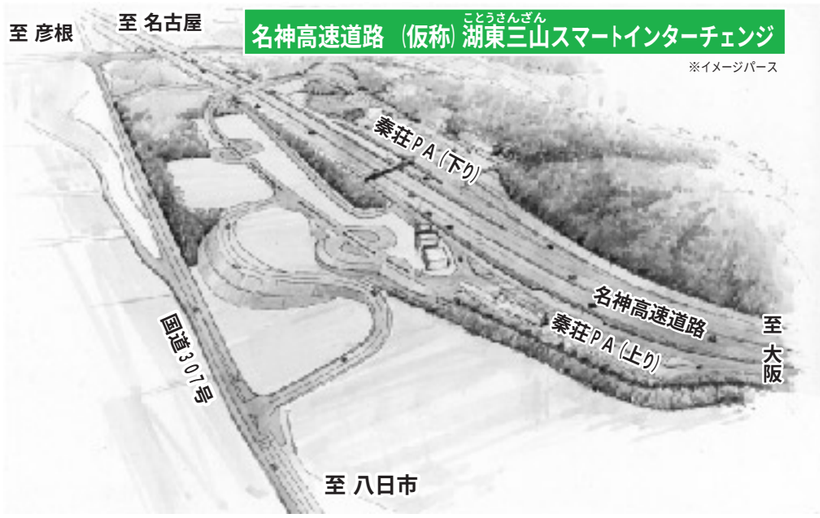
固定資産評価審査委員会委員
〔任期は3年〕
富之尾
坂上　定男　氏(新)64歳
（全員賛成）

条例改正

◎税条例の一部改正
テナント等が事業のために取り付けた内部設備は償却資産として賃借人に課税するもの。

◎国民健康保険出産費用貸付制度および同基金を廃止
出産費用を貸し付ける制度であったが、平成21年10月から産科医療機関に直接行政より支払う制度に変更となったため廃止するもの。

◎彦根犬上広域行政組合に愛荘町が加入したため改正
名称は「彦根愛知犬上広域行政組合」と変更するもの。
（平成22年3月1日から）



早期着工が待たれる、湖東三山インターチェンジ

一般会計補正予算（主な内容）

◎借入金繰上げ返済
２億８７万円
将来の負担軽減のためふれあいの郷建設借入金の内、ＪＡからの借入金を全額繰上げ返済する。

◎除雪車車庫新設工事
４０００万円
新除雪車と塩カル散布用車輌の車庫を大岡地先に建設する。

◎海洋センタープール改修工事
３９１９万円
老人の健康増進のため利用しやすいように改修する。

◎海洋センタープール利用者送迎用車輌購入
２７１万円

◎そば用コンバイン2台購入補助金
１５３万円
土田、木曽地区に1台づつ購入のため補助。

◎ニンジン選別機購入補助金
８９万円

◎森林整備地域活動支援事業補助
１５２万円
獣害被害調査費用ヘクタール当り1万円。

◎下水谷地区法面落下防止網工事
９５万円

◎全国瞬時警報装置購入
７０３万円
緊急地震速報等、防災情報を有線放送を利用して知らせる。

◎湖東三山インターチェンジ負担金削除
４９３万円削除
県費で負担するため削除する。

活躍する新鋭除雪ドーザー

臨時議会

11月24日、第3回臨時議会を開催し、条例4件、平成21年度一般会計補正予算を審議し全員賛成にて可決した。

特別職（町長・教育長・議員）期末手当減額
職員給与体系変更
21年度一般会計補正予算可決
インフルエンザ・獣害対策費計上

21年度補正

◎一般会計
・インフルエンザ予防接種助成金
８０６万円
・獣害対策事業補助金
１８０万円
・職員人件費減額
１５００万円
条例改正による給与体系の変更に伴う減額。

条例改正

◎町長・教育長・議員の期末手当を年間0・25カ月分減額する。

◎一般職の期末・勤勉手当の年間支給率を0・35カ月分引き下げる。

◎一般職の給与月額の平均0.2％減額、住居手当の一部廃止、平成22年4月1日から実施。

各委員会報告

総務常任委員会

海洋センター改修工事 4000万円

12月11日開催
付託を受けた、平成21年度一般会計、国保会計補正予算を審議し、原案のとおり可決すべきものとした。
請願第1号「食品資源リサイクル処理施設建設申請の不許可を求める請願」は、賛成多数で可決すべきものとした。

総務課所管
◎高金利の起債2億円を繰上償還を行い、将来に備えたい。
◎全国瞬時警報装置、有線放送を通じ発信する。703万円は全額県支出金。
今後の課題として有線未加入宅の対応について検討する必要がある。

福祉保健課所管
◎子育て応援特別手当金823万円は国の施策により中止削減。

教育委員会所管
◎海洋センターのプール漏水のため改修、高齢者にも利用できる歩行レーンを設ける。
問 富之尾・楢崎の冬期バス通学補助金を通年に。
答 教育委員会で検討する。
問 スポーツ活動激励金の補助先は。
答 少年野球、ハンド、バレー、ホッケー等。

環境生活課所管
◎国民健康保険特別会計1億215万円追加。
一般病養給付費と高額療養給付費の総額。

請願第1号
（詳細は6頁に記載）

改修予定のB＆Gプール

産業建設常任委員会

除雪車々庫新設 4000万円

12月14日開催
付託を受けた、平成21年度一般会計、水道事業会計補正予算を審議し、原案のとおり可決すべきものとした。
請願第2号「EPA・FTA推進路線の見直しを求め、日米FTA推進に反対する請願」は、賛成少数で不採択とすべきものとした。

建設課所管
問 除雪車の車庫はなぜ大岡地先なのか。
答 管理の面で現在地を雪寒基地としたい。

雪寒基地予定地

企画課所管
問 指名願はすべての業種が2年に1回か。
答 随時受け付けはなく、すべての業種に対し2年。

農林商工課所管
問 そば用コンバイン、人参選別機購入はどこか。
答 コンバインは木曽・土田の組合、選別機はJAで各農家に貸し出す。

公営企業課所管
問 既設の浄水場跡地は。
答 浄水場は解体する。跡地利用は今後考える。

請願第2号
（詳細は6頁に記載）

閉会中の審議

10月16日開催
町道小森池線は富之尾側300mを小森池川に50cm振り入札を行う。
当初予算（借入金）1億円は今回の入札分と舗装工事で終了する。

常任委員会研修レポート

長野県 佐久穂町 福祉行政と町立千曲病院を研修

10月27日視察をした佐久穂町は、長野県東南部に位置し、平成17年3月に佐久町と八千穂村が合併し誕生した町である。
面積188㎢、人口は1万3千人弱で高齢化率は30％を超えている。

◎健康づくり事業
◎老人保健事業
◎高齢者福祉
◎介護予防生活支援
◎家族介護支援
◎デマンドタクシー
◎町立千曲病院
◎介護施設等

健康づくり事業（保健予防）
・生涯を通じる健康。
・健康は自らつくり守る。
・食育への取り組み充実。
・評価につながる保健活動など4つの基本活動。

老人保健事業
人間ドックは35歳から74歳まで、2年に1回で負担金は1万円が基本。

福祉医療給付制度
子どもの医療費助成は中学校卒業まで。

高齢者福祉
緊急通報サービス、安否確認サービス、配食サービス等。

介護予防・生活支援
介護認定を受けていない高齢者にも同程度の支援をしている。

家族介護者支援
家族支援事業、介護教室開催等、介護手当支給事業を実施している。

デマンドタクシー
9人乗りの車で、2地区を一時間間隔で運行。
運賃は300円と150円、運行経費は2700万円で料金収入は600万円、差引2100万円を負担している。

町立千曲病院
内科、小児科等12科で診療、職員数は120人、入院患者は96人、一日の外来患者は175人。
利用率は87％で町内利用者が大半である。

信頼　愛される「町立千曲病院」

長野県の福祉医療は日本一であるが、佐久穂町の課題はまさに多賀町と共有するもので課題解決の参考になった研修であった。

長野県 池田町 協働のまちづくり、観光まちづくり

10月26日視察をした長野県池田町は、北アルプス連峰を望む田園地帯で、活力あるまちづくりを目指す面積40㎢、人口1万1千人の町である。

協働のまちづくりの基本は自助・共助・公助の3原則。

協働意識を浸透させるため地域づくりの根幹をなす自治会33組織の充実と支援、18年度からスタート。
財源不足やニーズの多様化等を住民が理解し、地域は自分たちで良くしようとする「共助」を重点事業と位置づける。
まちづくりの主役は住民を基本に地域を支援し、住民とともに築き上げる。
今後のまちづくりに大変参考となり実り多き研修であった。

協働のまちづくり事業

まちづくり事業
地域振興・活性化のため自治会の自主的事業に30万円を上限に補助。

建設資材支給事業
自治会が道路・水路の整備・補修に資材経費30万円を上限に補助。

自治会担当制度「自治会パートナー」
事業を推進するため全職員が各自治会の活動や運営の支援、自治会の会議に出席し情報の提供、要望事項等の把握・相談協力をする。

観光まちづくり事業

池田町農産物加工組合（カモミールの会）は、平成10年に女性有志61人で発足し、地産食材を使用した味噌、漬物、惣菜の加工販売を行う。
平成19年6月に建設の農産物加工直売所とレストランは、同会が管理運営を行っている。
年間利用者は2万人。
レストランの地場産食材の使用率は90％である。
平成19年度から小学校にパン作り等、食育活動にも取り組んでいる。

人気はシフォンケーキ　売店「カモミール」

請願

請願第1号

食品資源リサイクル処理施設建設申請の不許可を求める請願

請願者　区長安藤直毅　他492人

紹介議員　川添武史　本多重男

総務委員会審議結果

◎賛成多数で採択

本会議審議結果

◎全員賛成で採択

請願趣旨（要旨）

多賀地区に、食品資源リサイクル処理施設が建設計画されている。

建設計画の周辺地域は、多賀大社の門前町として栄え、古くからのたたずまいと優れた自然景観により、県内外から訪れる観光客の往来も多く、町の玄関口でもある。

住宅も隣接しており、生活環境の悪化が懸念されるところである。

毎日、登下校する子どもたちの安全が確保されるか区民は心配である。

「神様の住まうまち」をコンセプトに行政だけでなく、商工会、多賀大社、商店街、地域住民が一体になって、近隣景観形成協定地区の認定を受け、まちづくりに取り組んでいるところである。

これらのことを理解のうえ、議会として、町当局が不許可の判断をされるよう働きかけをお願いする。

委員会での意見

◎492人の反対署名が提出されている。慎重にすべきだ。

◎具体的な内容を把握するため、類似施設を見学し、結論を出すべきだ。

◎公害の発生を懸念する。

請願と陳情

議会では、町政に対するみなさんの意見や要望を請願書・陳情書として受け付けています。

議員の紹介のあるものを「請願」ないものを「陳情」として、その取り扱いに次のような違いがあります。

請願　採択されたものは、町長にその請願書を送付したり、国・県等の関係機関に意見書や要望書を提出したりして、その実現を求めます。審査の結果は、必ず請願の代表者に送付します。

陳情　内容により写しを全議員に配布するのみの場合もあります。

請願第2号

EPA・FTA推進路線の見直しを求め、日米FTAの推進に反対する請願

請願者　滋賀県農民連合会　会長　北村富生

紹介議員　山口久男

産業建設委員会審議結果

◎賛成少数で不採択

本会議審議結果

◎賛成4・反対7で不採択

請願趣旨（要旨）

従来の輸入自由化万能論では、深刻な世界の食料問題は解決できない。

それぞれの国が主要食料の増産を図り、食料自給率を向上させる以外にない。農産物貿易の全面自由化と農業補助金の削減・廃止を世界の農業に押しつけた世界貿易機関農業協定路線は見直しが必要である。

2国間・地域間の協定でのEPA・FTA路線も見直が必要である。

日豪、日米のEPA・FTAは、農業に壊滅的打撃を与え、特に日米FTAは、主要農産物を除外と言うが、農産物の関税を撤廃することである。

交渉が始まれば取り返しのつかない事態になる。

委員会での意見

◎農業と農村の再生には、農家が安心して生産に励むことができる条件を整えることであり賛成する。

◎EPA協定は、関税の撤廃だけでなく、投資や協力を含め幅広い経済関係強化を目指し、すでに政府が推進、発効済の国も多く、農業の壊滅的打撃は与えない。

がんばる農業経営者

〔用語解説〕

■FTA（自由貿易協定）

特定の国や地域の間で、品の関税やサービス　貿易の障壁などを削減・撤廃する協定。

■EPA（経済連携協定）

FTAを柱に、人・物・金の移動の自由化、円滑化を図り、幅広い経済関係の強化を図る協定。

町政のここがききたい　一般質問

芹谷ダムの今後は 誠意をもって支援する

ー町長ー

藤本　一夫 議員

藤本議員

平成21年1月に、芹谷ダムの中止を知事が発表し、1年が経過するが、この間何の進展もない。

県のはっきりしない態度、誠意のなさすぎに、更なる苛立ちを覚える。

今後、地元住民が最も安全で、安心して暮らせることを期待しているが、町長の見解を問う。

町長

町長に就任以来、一貫して関係地域の皆さんの思いを真執に受けとめ、全面的に支援していきたいというこの基本的な姿勢は変わらない。

県の具体的な補償案が提示されるよう、町として皆さんの思いが実現できるよう誠意をもって支援していく。

薬物乱用問題は 文書やチラシで啓発

ー町長ー

大橋　富造 議員

大橋議員

平成21年6月に薬事法が改正され、コンビニでも医薬品が購入しやすくなり乱用が懸念される。

青少年の認識を高めるよう、啓発などの考えはあるか町長に問う。

教職員には薬物に関する専門知識を身につける研修など計画されたか、経緯を教育長に問う。

町長

医療品販売は、専門家の対応を義務付けている。

文書やチラシ、看板等で啓発をしていく。

教育長

教職員の薬物乱用防止教室に参加し、資料の回覧や特別事業を実施する。

教師や保護者を対象に講演会、学習会を実施。

総合計画の人口増に貢献「柏葉団地」

第4次総合計画は 検証を踏え次年度へ

ー企画課長ー

大橋議員

第4次総合計画は、21世紀の多賀で暮らす人々へのメッセージを目標とし、「山蒼く水清く心豊かな多賀のまち」をコンセプトに掲げた。

住民の意識調査を分析、策定した計画は平成22年度に期間の終了を迎える。

現段階での総合計画に対する達成状況や事業の実施はどうか。

企画課長に問う。

企画課長

後期の期間も残り1年余りとなった。

達成度の検証は担当課が中心に行っている。

集約を今年度に終え、平成22年度には、これらの検証を踏まえ、第5次総合計画の具体的な施策の作業に入る。

多賀町にも事業仕分けを見直しを行っている

ー企画課長ー

本多　重男 議員

本多議員

政府は、来年度の予算概算要求の中から無駄を徹底的に洗い出す事業仕分けを公開している。

この事業仕分けは一部自治体においても既に導入し、一定の効果もでている。

多賀町においても、町財政状況が大変厳しい、町独自の事業見直しを実施すべきと考えるが、担当課長に問う。

企画課長

無駄をなくすための事業仕分けは、行財政改革を進めるにあたり重要と認識している。

現在、町での事務事業は、予算編成作業時を初め、常日ごろから費用対効果や事業手法など見直しを行っている。

老朽化が進む上水道施設の更新を認可の手続中

ー公営企業課長ー

北川　久二 議員

北川議員

町の水道施設は完成後約50年が経過するが、現在の耐震基準に基づく設計、施工はできておらず、地震による被害防止を早急に図る必要がある。

現在の施設更新計画の①水源確保のめどは。②老朽管の更新計画は。③全体事業費約50億円の財源確保は。

公営企業課長

①新たな水源の確保は大変難しく、現在の仏ヶ後水源を利用、認可手続中である。

②老朽管は管路の残り65㎞であり鋳鉄管等に順次変更していく。

③国からの補助は約10％であり、残は起債を考えている。また料金改定も検討していきたい。

佃川の現状

犬上川支流「佃川」の河川改修を早期整備を強く要望

ー町長ー

富永　勉 議員

富永議員

一級河川である佃川は、壷から西流し、富之尾地区を流れる犬上川の支流である。

ここ数年前からヨシに覆われ川底も浅く、洪水に対する備えとして、撤去などは、基本的な治水対策の手法であると認識している。

佃川の管理者は滋賀県であるが、町に対して、富之尾区から要望は何度となく提起しているが、まったく対応をされていない状況である。

この要望は県に対し、どのように要請されているのか町長に問う。

町長

本河川は数年前よりヨシや雑木が繁茂し、河積断面を縮小している状況である。

近年の地球温暖化の気候変動に伴う異常気象により水害や土砂災害が発生すると人命財産を失う。

緊急性の高い河川であり改修の整備が必要であると認識している。

早期に整備されることを県に強く要望していく。

住宅リフォーム補助制度の継続は国の経済対策で検討

ー農林商工課長ー

山口　久男 議員

山口議員

住宅リフォーム（家屋の修繕、補修）補助は、不況で苦しむ町内業者の仕事の確保と同時に下水道の接続工事によって水洗化の促進にもなる。

町民のくらし応援と地域経済波及効果が期待できる住宅リフォーム補助制度の継続実施を求める。

農林商工課長

最終交付申請受け付け件数は40件で、当初の事業目的を達成し、今年度の計画は終了した。

高齢者対策としての住宅バリアフリーなど一定の事業効果が得られた。

新たな事業の取り組みは、現時点では今後の政府の経済対策の動向等を視野に入れ検討する。

中学校給食のめどは

山口議員

中学校給食は①一日も早く実施すること。②中学校敷地内に給食施設を建設し、温かい給食が提供できる自校方式。③炊飯給食の実施、地産地消の拡大、食育の推進で生徒の健康を守る給食を求めてきた。現時点での検討内容および実施のめどは。

教育次長

平成22年度に基本、および実施設計を予定、23年度建設工事にかかれるよう計画している。

現在の中学校敷地内に給食施設を建設し、両小学校へ配送するよう検討を進めている。

搬入先である両小学校の給食室の改修も計画したい。

中学校敷地内で建設検討

のびのび　元気な　大滝幼稚園児

高齢者サービスの拡充を

山口議員

①介護保険を受けていない高齢者の介護予防や生活支援として（通所型介護予防事業など）高齢者サービスの拡充を求める。

②高齢化が進みコミュニティーの維持が困難な集落単位への新たな支援は。

介護予防教室を開催

福祉保健課長

①日常生活に必要な機能低下の状態を事前調査し、介護予防健診を実施。参加が必要な人に介護予防教室を開催する。

特に独居高齢者の場合、安否確認や冬場の雪かきなど、既存のサービスでは支援の限界があり、地域の助け合いに頼らざるを得ない。

町長

②高齢化率の高い集落に保健懇談会を開催し、意見交換や集落での新たな取り組みに温かく支援し、見守りたい。

大滝幼稚園の見直しは

山口議員

大滝幼稚園は大滝地区の幼児教育の拠点とし大きな役割を果たしてきた。

子育て支援や定住化対策として幼稚園の存在は大きい。

園児の減少から見直しは必要だが、保護者をはじめ地区住民の合意が必要であり慎重にすべきだ。

平成23年度移行で検討

教育次長

平成22年から、たきのみや保育園内に大滝幼稚園を移し、幼稚園と保育園の合同センターとして運営予定であった。

細部にわたる諸課題の解決を図ることから一年おくらせ平成23年度から移行できるよう、協議、検討していく。

残土処分地に グランドゴルフ場を 敏満寺区との協議が必要

―町長―

川添 武史 議員

川添議員

最近は簡単でマイペースでプレーができるグランドゴルフが人気を集めている。

本町では2カ所のグランドゴルフ場があるが、高齢者から高低差のある起伏に富んだ場所を求める声が強くある。

町道小森池線の残土処分地をグランドゴルフ場にできるよう整備できないものか町長に問う。

町長

近年、高齢者の健康増進にスポーツが盛んに行われ、最近はグランドゴルフが手軽にできるスポーツとして脚光を浴びている。

現在、利用している、多賀公園と四手公園を含めて、各集落にもある広場を活用対応願いたい。

残土処分地の処分完了後の土地利用は敏満寺区との協議が必要である。

過疎化対策への取り組みは 福祉サービスの充実を図る

―町長―

小森池線の残土処分地（敏満寺）

小林 元嗣 議員

小林議員

本町は、今後ますます過疎化が進んでいくことが懸念される。

この状況をどのように受け止めているのか、その対策はスピードを上げて取り組む必要があるのではないか。

町長

この10月から新たに運行した乗合タクシーなどの施策の推進・現行のサービス体制を最大限に活用しながら事業を展開。

空き家の利活用による都市住民の皆さんとの新たな協調関係を構築する調査の実施、施策を推進する。

萱原・一ノ瀬間の林道整備を 協議して対応する

―農林商工課長―

小林議員

犬上川左岸にある萱原一ノ瀬間は林道であるが住民の大切な生活道路である。

土砂崩れで更に狭くなり通行を妨げている。

早急に土砂の撤去とガードレールや側溝の設置など、一日も早い道路整備が必要と考えるが、担当課長に問う。

農林商工課長

現時点では、林道としての維持管理の範囲で対応を考えている。

通行が不可能となった場合には、協議して対応していきたい。

整備が待たれる上山林道

平成22年度予算は 相当きびしい

―町長―

土田 一善 議員

土田㈠議員

3年連続で税収がダウンしている。

平成22年度の予算はどれくらいか、住民の要望にこたえるだけの予算が確保できるのか。

町長

平成22年度は本年からさらに6千万円の減収予想である。

政権交代で地方交付税の見直しもあり、補助事業、起債事業についても慎重に対応したい。

各種委員の報酬は

土田㈠議員

日額の各種審議会委員の報酬は高く、年額で決まっている委員の報酬は少額、業務実態に見合った額に改正すべきと思うが。

総務課長

新政権での制度改正などで委員会の役割りも変わってくると予想される。

現在は高くも低くもないが、時期がくれば改正を考えたい。

時期をみて考えていく

芹谷ダム中止の解決策は

土田㈠議員

水谷地区の皆さんの苦しみを思い、知事に対して道義上の問題として解決策を示すよう要求すべきと思うが。

また、集団移転地にかかる借入金の返済も迫っている。

これ以上負担がないよう考えるべきである。

ダム対策課長

県から4回の回答を受けたが進展は見られない。

今後も住民の理解が得られる具体策を強く要望していく。

集団移転地の借入債務者は多賀町であり、債務については責任がある。

地元の意向を要望する

町道の安全対策は

土田㈠議員

民間地から県道へ出る進入路は、町道を横断しているが、県、町が許可したものか。

建設課長

土地利用者が出入口を設置する場合、道路占用の許可が必要、利用者が施工することが基本。

当該地は県道の改良工事に関連し、県が施工。

通学路は地元と検討、標識は公安委員会と協議。

通学路は地元集落と検討

町道　多賀・土田線

生ゴミ処理施設は

土田㈠議員

多賀区より要望書がでている生ゴミ処理場は多賀町の一等地であり、広域処理場が野田山町で計画された時以上にこの問題を対処すべきと思うが。

町長

多賀区住民の思いを深く受けとめ、申請事業者に要望の重みを理解願うとともに、別途利用など協力を得るための話し合いを進めていく。

事業者と話し合う

まちづくりの展望は

土田㈠議員

駅前の2施設の再開発は再考すべきである。

高取山のさらなる開発を進めるべきと考えるが。

町長

第5次総合計画で、うるおい、やさしさ、にぎわいの町づくりをめざす。

行政と地域住民との協働のまちづくりを考えていく、高取山の活性化にも取り組みたい。

総合計画と協働のまちづくりを

議会を傍聴して下さい

3月の一般質問は10日予定です。

がんばってます！

高取チェンソークラブ

わがクラブは、平成14年に発足し、現在県内外から40人の会員が集まり、老若男女、障がい者を問わず活動しています。

活動は、毎月2回の練習会、各種競技会への参加など、毎年秋には一大イベントとして『森の感謝祭』を行っています。

この『森の感謝祭』は、森に感謝し、地域に還元する目的で、県内の公共的施設へベンチをプレゼント、作品の売上げの一部を「やまのこ」事業への支援としています。

昨年も6回目を数えた『森の感謝祭』では、全国から44人のカーバー（彫り手）が高取山ふれあい公園に集結、豪快で繊細な作品の数々を彫り上げました。

感謝祭をはじめとする私たちの活動が、少しでも林業への活性化や理解への糸口となり、自らの生きがいづくりと共に、地域の活性化の一助になればと思っています。

会長　樋栄　浩之

丸太を彫刻「オンリー・ワン」のチェンソーアート

藝やカフェ

近江鉄道多賀大社前駅から多賀大社を結ぶ絵馬通り沿い、寿橋のたもとに「藝や（げいや）カフェ」はあります。

空き店舗を活用する事業として築約九十年の元「北森時計店」の建物を改修、「絵馬三号館」としたのがはじまりです。

地元で生まれた自家焙煎珈琲と手づくりのケーキ、チャイなど喫茶と軽食を提供する個性的なお店として知られるようになりました。

ものづくりを大切にするまちを目指し、アーティストや作家の方々、ボランティアの皆さんと一緒に活動する「藝や（げいや）」の本部でもあります。

展示やライブイベント、パッチワーク教室等を通じて多賀町内外の素晴らしいネットワークも生まれました。

おいでいただいた皆さんにくつろいでいただける、おもてなしのできる拠点として、今後も営業していきたいと思います。

平居　晋記

小さなお店ですが、
ぜひ一度足をお運びください（木曜定休）

編集後記

寒中お見舞い申し上げます。

昨年は何かと激動の一年でした。

この小さな多賀町でも片谷ダムの中止や、学校給食問題、町道小森池線や中川原、久徳線と諸問題を山積したまま新しい年を迎えました。

国の方では新政権が国民との公約であるマニフェストを果たすべく、一所懸命取り組んでいます。

世界同時不況の嵐の中で失業者がたくさんできる社会情勢など明るいニュースが少ない平成二十二年の年が明けました。

議員一人一人が、さらに気持ちを引き締め、もっと笑顔があふれる明るいまちにするため、がんばりたいと年の初めに思います。

藤本　一夫　記